

日本学校心理士会年報の投稿原稿作成のためのチェックリスト

日本学校心理士会年報では、多くの会員の皆様からの論文の投稿を期待しております。そして、投稿された論文の査読のために、多くの先生方の人手と時間を割いて頂いております。

一方、スムーズに論文の査読を進めるためには、原稿作成・投稿要領を正確に守っていただくことが必要となります。煩雑な作業かもしれませんが、原稿作成・投稿要領をよくお読みいただいたうえ、以下のチェックリストをご活用いただいて、投稿論文を作成いただくようお願い申し上げます。

1. 原稿の体裁

- ☐ 原稿はA4サイズとする。
- ☐ 本文は24字×42行1段組（刷り上がり2段組の1段と同様）とする。
- ☐ 左端に行番号をつける。（「年報原稿書式」-日本学校心理士会のホームページにアップロードされているword形式のものを参照）
- ☐ 下部中央にページ番号をつける。
- ☐ 図表写真等は別添とし、刷り上がりの大きさを指定する。
- ☐ 原稿は、論文タイトル、日本語要約（400字程度）、キーワード（内容を表す語を5語程度）、本文、引用文献、英文タイトル、英文要約、英文キーワードの順にする。
- ☐ 原稿は審査に使用するため、無記名とする。
- ☐ 刷り上がりの分量が10ページ（資料論文は8ページ）に収まるようにする。
論文タイトル、日本語要約、英文要約など本文以外の部分で刷り上がり約1頁を費やすこと、及び、図表等は圧縮することを考慮して分量を調節すること。

2. 日本語要約、英文要約

- ☐ 改段落せずに1段落で書く。
- ☐ 図表は引用しない。
- ☐ 英文要約は採択が内定してから提出することも可とする。
- ☐ 英文要約を提出する際はネイティブスピーカーに校閲を受けることが望ましい。

3. 本文

- ☐ 数字は原則算用数字で、0～9（一桁）までは全角、10（二桁）以上は半角を用いる。
- ☐ 句読点は、「。」、「,」とする。
- ☐ 略語は一般に用いられているものに限る。必要な場合は、初出時に略語の後ろの（ ）内にフルスペルを明記する。
- ☐ 同意語や類似概念の混在を避け、名称や用語を統一する。
- ☐ 図表は引用順に番号を振る。
- ☐ 見出しの番号が前後していないかを点検する。
- ☐ 本文中の章、節、項には、それぞれⅠ・Ⅱ・Ⅲ…、1・2・3…、(1)・(2)・(3)…、の番号で表記する。
- ☐ 箇条書きの番号は①・②・③…とする。
- ☐ 文献の引用に際しては、著者名は以下の要領で記す。

＜本文中に文章として入れる場合＞

2名の共著の場合：（日本人）石隈・小野瀬(1997) （外国人）Thomas & Grimes(1990)

3名以上の共著の場合（初出時は著者全員の姓を記す）

初出：（日本人）石隈・永松・今田(1999)

（外国人）Reynolds, Gutkin, Eliot, & Witt(1984)

2回目以降（日本人）石隈ら(1999) （外国人）Reynolds et al. (1984)

＜括弧内に文章として入れる場合＞

…である(石隈, 1999)。

4. 引用文献リスト

- ☐ 引用したすべての文献をリストアップする。
- ☐ 本文で引用していない文献はリストに入れない。
- ☐ 文献リストと本文の引用に、綴りや年号の不一致がないか照合する。
- ☐ リストの順序は、著者の姓のアルファベット順、同一著者については年代順とする。
- ☐ 著者名が複数の場合は、全著者名を記載する。
- ☐ 日本人著者名は、姓名ともに記載する。
- ☐ 外国人著者名は、姓, first 及び middle name のイニシャルの順で記載する。
- ☐ 著者が複数の場合は、各著者名の間に日本語では「・」をいれる。
例：石隈利紀・永松裕希・今田里佳
- ☐ 著者が複数の場合、英文では「,」を入れ、最後の著者名の前に「&」を入れる。
例：Reynolds, C. R., Gutkin, T. B., Eliot, S. N., & Witt, J. C.
- ☐ 翻訳書を使用した場合は原著について記載し、用いた翻訳書の訳者、刊行年、書名、発行所をその後ろに（ ）として記載する。
例：Caplan, G. 1964 *Principles of Preventive Psychiatry*. Basic Books (新福尚武監訳 1970 予防精神医学 朝倉書店)
- ☐ 同一著者名や同一雑誌名が連続して記載される場合も“同上” “ibid.” は用いない。
- ☐ 欧文文献の場合、冊子名・書籍名はイタリック表記とする。
- ☐ 雑誌名の省略は使用しない。
- ☐ 1巻に数号発行される雑誌の場合には、巻の通しページを記載する。
- ☐ 巻の通しページを採用していない雑誌については、巻数〔イタリック〕の後の（ ）内に号数を併記する。
例： 6(2), 36-45.
- ☐ 巻数をもたない雑誌（大学の紀要や商業雑誌など）については、号（あるいはそれに準ずるもの）を 18, 21-30 のように記載する。
- ☐ ホームページなどを引用する際は、必ず URL と閲覧日を記載する。

5. 図表等

- ☐ 原則として日本語で作成する。
- ☐ 表の題目は、表 1, 表 2…として表の上部に書く。
- ☐ 図の題目は、図 1, 図 2…として図の上部に書く。
- ☐ 図は原図を縮小して製版するので、刷上りの2倍程度の大きさで印刷状態の良いものを添付する。
- ☐ 図, 表, 写真等は刷上りの大きさをmm（ミリ）単位で指定する。

6. その他

- ☐ 「日本学校心理士会年報倫理規定」を遵守しているか確認する。
- ☐ 誤字脱字, 変換ミス, 表の数値の間違いなどがいないかを最終点検する。
- ☐ 原稿及び図表等はEメール添付にて提出する。その際、投稿票（日本学校心理士会のホームページよりダウンロード）も添付する。